

山ノ内町ゼロカーボン推進協議会（令和８年度第１回） 議事録（要旨）

開催日・出席者等

開催日時 令和８年７月２７日（月） １０時００分から１１時２０分まで
場 所 山ノ内町役場 ４０１会議室
出席者 下記のとおり
傍聴者 ０人

協議状況（会議事項）

１ 開会 …堀米未来創造課長

２ あいさつ …八林会長

３ 委嘱状交付

４ 議題

（１）山ノ内町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案について …江澤
資料１「山ノ内町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）」の概要を説明。

（２）目標達成に向けた施策について …江澤
資料２「目標達成に向けた施策」について概要を説明。

５ 意見交換

○委員

資料１の６章内にあるゼロカーボンパークの記載について、「国立公園地域において先行的に脱炭素化に取り組む」といったニュアンスで、ゼロカーボンパークの意義を盛り込めると良い。また、町民や観光客への啓発として、ゼロカーボンパークの取組状況をビジターセンター等で展示して見える化できると良いと感じたので、検討してほしい。
町内で雪冷房などを活用できそうだが、検討経過はあるか。

○事務局

須賀川地区に雪室があり、農作物を保存したりはしている。冷房という観点ではまだ検討していない。

○委員

高効率機器だけでなく、排出係数の低いエネルギーへの燃料転換（低炭素エネルギーの活用）も計画に記載してはどうか。

環境価値の面でクレジットを創出するだけでなく、活用することも検討してはどうか。具体的にはグリーン電力証書やカーボンオフセットガスなど。

○事務局

森林整備にかかるＪクレジットの創出については、北信州森林組合と検討しているが、現実的に難しい部分を感じている。現場の人員不足状況なども踏まえつつ検討してまいりたい。

志賀高原の森林の吸収量等も今後調査していきたい。

○委員

P41に記載されているFM率というのはどういうことか。

○事務局

森林経営されている森林の面積割合を示したもの。

○委員

再生可能エネルギー導入の施策として、P54に「未利用の土地や農地等の活用検討」と記載されているが、土地の所有者に導入を促進していくのか、町内の荒廃農地等を町が買い取って実施するのか、どのように想定されているか。

○事務局

町で買い取ることは考えておらず、町民の要望に応じて再エネ設備設置にかかる補助金の拡充等を検討し、促進できればと考えている。

○委員

農地等には原野も含まれているか。

○事務局

大規模な太陽光パネルの設置は景観に悪いということもあるので、施設園芸などでの活用が現実的かと考えている。

今後、町内の産業と脱炭素の連携を検討していきたいと考えており、現時点では幅広い言葉を使っている。

○委員

再生可能エネルギーの活用として、温泉熱、地中熱の記載があるが、活用の見通しはあるのか。

○事務局

現状、再生可能エネルギーの設置補助として、太陽光発電、温泉熱利用、太陽熱利用、地中熱利用が対象となっており、導入推進を図っている状況。

計画内で地熱発電のポテンシャルが高いという結果が出ているが、温泉地での深層掘削のハードルは高い。現状では、既存の補助制度の拡充等を図るのが現実的かと思うが、今後、地権者や温泉所有者等の意向によっては、発電といったところにも目を向けていければと考える。ただ、町が発電を行うということではないので、発電事業者に入ってもらえるかどうか重要。

○委員

これまで発電にチャレンジした人も中にはいて、なかなか現実的に難しくて実行できていないが、計画に盛り込むということは将来的に可能性があるということか。

○会長

温泉熱、地中熱については、「利活用の可能性を探ります」という書きぶり。可能性があればチャレンジするという方向性で、計画には残しておいて良いと思う。

○委員

近隣市町村との連携状況はいかがか。

○事務局

中野市と情報交換は行っており、中野市で実施したPPA事例などを参考に、当町でも実施できるか検討している。また、北信地域の企画担当課長会議等でも連携を提案している。

○会長

せっかくの機会なので委員の皆様から一言ずつ意見等をいただければと思う。

○委員

温泉熱の利用など山ノ内町ならではの施策が盛り込まれており、方向性として良いと思う。

○委員

事業者アンケートで、8割の事業者が排出量削減目標を「定める予定はない」と回答している。地球温暖化対策をしなければ10年後、20年後にどうなってしまうのか、分かりやすく1枚チラシにまとめるなど、危機の具体化を丁寧に行うべきと考える。

○委員

地球温暖化対策として脱炭素が本当に正しいのかという疑問を持っている事業者もいると思うが、志賀高原の自然を残していきたいという気持ちも持っている。

ある程度の産業を犠牲にしてでもやっていくべきことなのかどうか、町としても慎重に検討して進めていただきたい。

○委員

今までやってきた森林整備や木材の活用促進等が、実は脱炭素化に繋がっているということをこれまでうまく発信できていなかったと感じる。小学校での講演などで、そういったことをお話しさせていただいているが、今後、SNS等を活用した発信強化も検討していきたい。

○委員

観光の町としてなかなかマイカー規制は難しいと思うが、長電グループの地獄谷野猿公苑では年間33万人もの人が訪れていて、その過半数がマイカーで来ており、どうなんだろうと感じる。公共交通関係だけでなく、色々と考えていければと思う。

○委員

設備投資だけではなく、夏場の一定期間、役場職員が志賀高原でテレワークをするなど、冷涼な環境を活かした対策が効率的だと思う。山ノ内町ならではの取り組みであると思う。

○委員

レジリエンス強化の面でも、蓄電池や太陽光を活用した自律分散型電源の導入も検討してはどうか。

○委員

国立公園であるこの町でゼロカーボンパークを達成できなかったら、他の地域でも難しいと思う。山ノ内町ならではの施策を行い、町民だけでなく観光客にも啓発していく必要がある。

○会長

貴重なご意見ありがとうございました。事務局と相談して計画に盛り込みたいと思うが、記載内容についてはこちらにお任せいただきたい。

修正した計画を最終案として、パブリックコメント等や議会への説明に進みたいがよろしいか。

○一同

異議なし。

6 その他

特になし

○出席者名簿（敬称略・順不同）

（委員）

一般社団法人集落自立化支援センター代表理事 八林 公平
町議会 総務産業常任委員長 山本 光俊
山ノ内町金融団 代表 桑原 啓
山ノ内まちづくり観光局 事務局長 巖真 一宏
山ノ内町商工会 会長代行 佐藤 匡則
北信州森林組合業務課 課長 尾淵 義輝
長野電鉄株式会社 福村 公博（代理出席）
志賀高原観光協会 事務局長 野口 晃一（代理出席）
環境省志賀高原管理官事務所 原 耕資
長野都市ガス株式会社 経営企画部地域共創室長 笠井 真也
※欠席 1 名

（事務局）

山ノ内町 未来創造課長 堀米 貴秀
山ノ内町 未来創造課地域創造係長 三井 里美
山ノ内町 未来創造課地域創造係 江澤 優太
株式会社エスプール 田村 光莉（計画策定支援事業者）

以上